

議 事 録

会議の名称	第４回上牧町学校統合準備委員会（通学部会）会議
開催日時	令和６年１１月２８日 午前１０時００分から
開催場所	上牧町役場 西館２階 第６会議室
出席者 （委員等）	福仲部会長、西尾委員、関委員、小倉委員、武田委員、手嶋委員、高田委員、千川委員
出席者 （事務局等）	教育総務課長、教育総務課長補佐
傍聴の有無	無
議事録の 作成方法	要点筆記（簡易対話形式）
会議の議事	１．開会 ２．現地調査（先行実施）の結果について ３．保護者アンケート調査について ４．その他（連絡事項等） ５．閉会
会議資料	・通学部会資料８：「通学経路調査の記録」 ・通学部会資料９：「中学校の統合に係る通学のあり方に関するアンケート調査について」
決定事項	なし
特記事項	なし
次回日程	未定

内 容（簡 易 対 話 形 式）

1. 開会

事務局

定刻により開会する。

なお、本会議は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とし、会議録作成のためＩＣレコーダーで録音していることについてご了承いただきたい。

それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 現地調査（先行実施）の結果について

福仲部会長

それでは案件事項の議事を進める。

まず、「通学部会資料8：通学経路調査の記録」に関して、事務局から説明をお願いします。

（資料について事務局が説明）

福仲部会長

ただいま説明があったことに関して、何か意見等はないか。

福仲部会長

すぐに意見が出ないようなので、私から1つ話をさせていただく。今回の資料は、昨年度に行った調査の報告であるが、今年度（令和6年8月8日）に上牧中学校から校区で一番距離のある松里園地区まで生徒が登下校時に通行する経路を選んで徒歩で調査を行った。実測局は2,424mで約2.5kmであったが、この地区は当然、上牧小学校区にも含まれており、小学1年生の児童も徒歩で登校するエリアになる。小学生に自転車通学をさせるということができないなかで、同じ地区で移動距離の変わらない

中学生だけを自転車通学の対象にすることは現実的ではない。現在、建設している新しい校舎も、現在の中学校の同じ場所になるので、現在の上牧中学校の校区から通学する生徒の通学方法も議論の対象にすると小学校の通学にも影響が広がる。上牧中学校区の通学方法は変えずに、上牧第二中学校区から上牧中学校に通う生徒の通学方法について議論したほうが円滑に進められると思うし、混乱も少ないのではないかと考えている。そういったことを勘案すると、「2.5 km」というのがひとつの目安になるかどうかと思う。

高田委員 この資料を見たときに、前回の会議で挙げさせていただいた箇所も含まれていて、的確に調査されていると感じた。この調査結果から、自転車通学を希望する生徒には、自転車での通学を許可するというかたちをとらないといけなくなるのではないかという気がするが、実際に自転車で通学した場合に、街灯が暗かったり、雑草で視認性が悪かったりする箇所は対策を取ってもらえるのか。また、自転車は歩道を走行する前提か？車道は危険だと感じる。

事務局 自転車での歩道の走行は原則できない。

高田委員 車道の交通量の多いところを自転車で走ることになるのか。もし事故が起きてしまったら、自転車通学を認めた責任も問われるので慎重になる。

事務局 安全面や健康面、学習面などさまざまな観点から考えていただきたい。また、通学のあり方を考えるうえで、大きな方向性として「一定の距離以上の生徒については、通学手段を選択制にする」とした場合においても、距離がある以上、どの方法をとって

もリスクは残ると思うので、軽減・解消する対策については、引き続き部会で検討いただきたいと考えている。

竹田委員 統合のスケジュールについて説明を求めたい。統合の時期が遅れていると認識している。

事務局 統合については、令和８年４月を予定している。上牧町学校適正化基本計画でも、中学校の統合時期については、「令和７年度または令和８年度」としており、その後、正式に令和８年４月統合の方針を示したが、それ以降特に変更したこともなく、統合時期を遅らせたという事実はない。

竹田委員 令和８年４月に統合するのであれば、それまでに部会として、考えをまとめて、その内容をもとに関係者に対して説明をしなければいけないということか。

事務局 お見込みのとおりである。

竹田委員 小学校の統合はいつか。

事務局 計画上では令和１１年度から令和１３年度の間に実施することとしているが、令和７年度に人口動態等に関する調査をし、計画の妥当性について再度検証・協議を行ったうえで、小学校の統合に関する方針について結論を出すこととしている。

竹田委員 先ほど松里園地区の話の際に小学校の話が出たが、上牧第二小学校の児童は残る小学校のいずれかの学校に行くことになるのか。

事務局	お見込みのとおりであるが、あくまで「統合する場合」という前提である。
竹田委員	承知した。小学校の統合時期がもう少し近いと認識していたので、包括的に議論したほうがいいと思ったが、この部会では小学生も含めて考えなくてもいいのか。
福仲部会長	小学校については、今回ここで議論をする必要はないと考えている。ただし、松里園地区が上牧小学校と上牧中学校の同じ校区のなかにあるので、通学方法を合わせてあげないといけない。
竹田委員	承知した。
事務局	小学校に関しては、令和7年度に調査を行い、方針を確定させたうえで、必要に応じて検討する予定である。
竹田委員	小学校については、まだ方針が確定していないので、この部会では中学校のみを考えればいいと理解した。
西尾委員	私も福仲部会長と同じ考えである。このあとのアンケート内容の検討にも関連するが、通学手段として、「バス通学」は選択肢に入れておかなくてもいいのか。
竹田委員	私も同意である。
事務局	今回のアンケート調査は、自転車通学の是非について民意を問うものであり、選択肢から外すというものではない。今回のアンケート結果次第で、本格的に検討していかないとはいけいと認識している。

竹田委員 部会での結論はいつまでに必要か。

事務局 冒頭ご説明させていただいたとおり、保護者のかたへの説明を年内にしたいと考えている。年末の忙しい時期に開いて、参加者がほとんどいないなかで、説明会を開催しても意味がないということもあるので、最終的にいつ開催するかについては、協議・検討のうえ決定するが、現在、公に示しているスケジュールとしては、「年内に説明会を開催する」という内容で発信しているので、少なくともそのスケジュールに対応できるような段取りはしておかないといけないと考えている。具体的には、このアンケートを12月13日（金）までとし、翌週早々に部会を開催し、通学のあり方について部会の意見をまとめる。その後、統合準備委員会に諮る流れになるが、この短期間で招集をかけることはできないので、事前に委員のかたがたに連絡をとり、書面開催として、12月19日（木）までに回答を求め、その結果をもとに、承認となれば、12月20日（金）の教育委員会会議に上程する。教育委員会が出した結論をもって、説明会に臨みたいと考えている。非常にタイトなスケジュールで申し訳ないが、スケジュールに当てはめるとこのようになる。

竹田委員 部会で通学の方針を決めるということか。

事務局 部会としての考え方をまとめ、通学手段に関する方針をまずまとめていただきたい。今回お示ししている先行実施分の通学経路調査の報告書については、部会で議論し、通学のあり方について方針（案）をまとめる際の参考、検討材料のひとつとしていただくもので、この資料をもって部会の結論とし、統合準

備委員会に報告をしようというものではない。

竹田委員 承知した。

福仲部会長 ある一定の基準を設け、それよりも遠い生徒については、徒歩以外の選択できるようにするか、しないかいうところが第一段階の話になる。徒歩以外の選択をできるようにすべきというところについては、委員の皆さま同じ認識でおられると思うので、ここからアンケート調査の内容についての議論に移りたいと思う。

竹田委員 一点確認する。報告書では 2.5 kmを目安に対策が必要とまとめられていて、松里園地区が実測 2,424mということであるが、これまで、通学中に熱中症になったという事例はないのか。

福仲部会長 上牧中学校の校長に着任して2年目であるが、そういった事例はない。

竹田委員 距離で目安を設けようとしている、個人差もある。

福仲部会長 自転車通学を認めている学校では、距離か地区（住所）を指定しているところが多い。

竹田委員 熱中症等になりやすいとか身体が弱いとか、個人差があるなかで、距離だけで対象を制限するということが、保護者のかたに理解を得られるのか疑問である。

福仲部会長 距離以外の目安は何で儲けるのか

関委員 現時点で、保護者の声として挙がっているのは、上牧第二中学校の校区からが多い。

竹田委員 どのような声が挙がっているのか。

関委員 距離が遠くなることへの不安や交通量が多い箇所を通行しないといけないことへの懸念の声である。また、大人が考える以上にカバンの重さに対して負担を感じている生徒が多いと聞いている。今回、荷物を持ちながら実際に歩き、距離を測って調査していただいているので、その進め方でいいと思う。

竹田委員 距離できることに納得がいかない。

福仲部会長 距離以外に何を基準にするのか。

竹田委員 2,500mの距離の根拠は何か。

福仲部会長 まず、上牧中学校については、場所が変わらないので、通学方法については現行どおりとするということについては、ご理解いただけたと思う。上牧中学校区の一番遠い地区よりもさらに遠い距離にあるところから通う生徒については、対策が必要という基準の設け方である。竹田委員の考え方だと、すべての生徒に対してすべての通学手段を認めないと公平性を担保できない。施設規模の問題で、すべての生徒の自転車通学を受け入れることはできないので、開校時については基準を設けないといけない。もちろん、将来において地勢的な変化が生じたときには見直しをしていくことになると思う。基本的に通学は、保護者の責任下のもとで行われることになる。学校としては、通

学路の設定をしないといけないので、通学路の設定次第で通学距離が延伸する可能性はある。いろいろ考慮しないといけない部分はあるが、現段階では何らかの基準を設ける必要はある。

竹田委員 承知した。いろんな生徒がいるなかで、一律に決めるというのがどうかと思った次第である。

福仲部会長 竹田委員のご意見については、個別に対応することになると思う。現在でも、ご家庭で送迎してもらっているケースや、他校ではあるが、一定の期間だけ自転車通学を許可してほしいという申し出を受けたこともある。身体的な問題を理由にする場合は、学校で個別対応するというような認識を持つことでクリアできるのではないか。

関委員 現在でも、体調が悪いときの通学方法（送迎）については、家庭で判断している。

竹田委員 承知した。

福仲部会長 以前に勤めていた学校では、申請の際に病院の診断書を添付してもらっていたが、個別対応する場合においても、保護者のかたに納得していただけるかたちで、生徒の健康に影響がないようにしていかないと考えている。

3. 保護者アンケートについて

福仲部会長 それでは案件事項を進める。

続いて、「通学部会資料 9：中学校の統合に係る通学手段に関するアンケート調査について」に関して、事務局から説明をお願い

いする。

(資料について事務局が説明)

福仲部会長 アンケートの内容について、協議を行う。

(以下、協議・確認事項概要)

- ・ アンケート調査の対象について
- ・ 依頼（周知）方法について
- ・ 自転車通学の基準について
- ・ 設問について
- ・ 選択肢の設定について
- ・ 回答方法について
- ・ 通学路について
- ・ 環境整備について

4. その他（連絡事項等）

福仲部会長 それでは、委員又は事務局から何か連絡事項等はあるか。

事務局 このアンケート調査は 12 月 13 日までに回答をいただくことを想定しているが、アンケート結果を踏まえたうえで、部会としての考え方（方針案）をまとめ、その後、学校統合準備委員会、教育委員会に諮ったうえで、年内に説明会を開催するスケジュールで進めていこうと考えているが、それらの協議・検討を進めていくために、臨時で通学部会を開催したい。時期としては 12 月 16 日（月）を考えているがどうか。いつもなら、皆さまと日程調整をさせていただいたうえで開催しているが、時間がないので、ここで決定したい。

(調整の結果、12月16日(月)午後4時00分に決定)

福仲部会長 ほかに意見等はないか。

(意見等なし)

福仲部会長 それでは、本日の案件事項は以上となるため事務局に進行を
移したいと思う。

5. 閉会

事務局 以上をもって第4回上牧町学校統合準備委員会(通学部会)
会議を閉会する。

以上